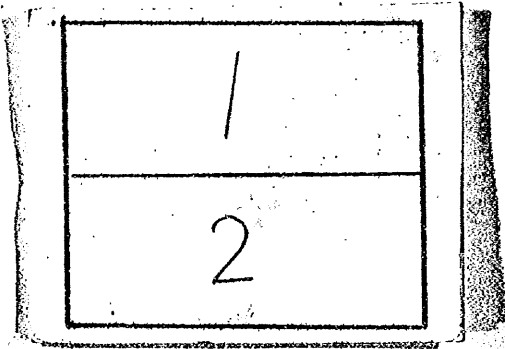


分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1098
1099

57
1098
1099

3

部隊原部

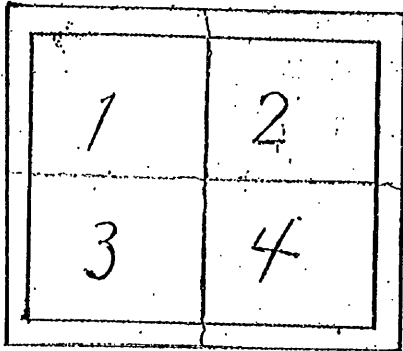
獨立
第三

阿原簿

獨立戰車第一旅團
第三方面軍直轄

九月十日 受領

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1100
1101
1102
1103

第三方面軍直轄 部隊名 獨立戰車第一旅團司令部

通稱號 迫一三〇四七

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	別除		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入「ソ」迄の變動		除別計		滿洲残留		收容所			
<p>一九、一〇、一一 戰車第二師團團用後、その發留員を基礎として勃利に於て編成</p> <p>二〇、五、二九 四平に移動人員八十五名</p> <p>二〇、八、一一 日「ソ」閉戦により作戦のため奉天に移動す此際約十五名を發留として四平に發留す</p> <p>二〇、八、一六 奉天にて武解、一八名を武解地點に發留し、兵器整理業務に従事せしむ、其後行動不明</p> <p>主力は同日虎石臺に移動入隊八名</p> <p>二〇、八、一八 死亡二名</p> <p>(曹長野野邊達男、上等兵松崎千代)</p> <p>召留二名</p> <p>發留者三十七名</p> <p>二〇、九、一三 東北大學に移動</p> <p>奉天編成二九大隊に編入(長谷錢)</p> <p>二〇、一〇、一五、黒河</p> <p>二〇、一〇、一八、ハルビン</p> <p>二〇、一〇、三〇</p> <p>チレンホーボー第一收容所に入所</p>		<p>十九年以降</p> <p>一九、一二、五 發一旅一三名</p> <p>一九、九、二五 二二野兵隊</p> <p>一九、一一、一 二〇、五、三一 一三發留飛行隊 五名</p> <p>一九、一一、一 其他 一〇名</p> <p>一九、一一、一 其他 五四名</p>	<p>十九年以降</p> <p>一九、九、二五 二二野兵隊</p> <p>二〇、五、三一 一三發留飛行隊 五名</p> <p>其他 一〇名</p>	80名	旅團長	副官	參謀	附部	軍醫	<p>少尉 阿部 安理</p> <p>(内は先代を示す)</p>	<p>少佐 本田 泰三郎</p> <p>中尉 谷藤</p>	<p>兵技大尉 青池</p>	<p>大尉 野原 康男</p> <p>曹長 田中</p> <p>中尉 本島</p> <p>(至「ソ」迄)</p>	<p>右 同</p> <p>右 同</p> <p>右 同</p> <p>右 同</p> <p>右 同</p>	<p>戰鬥間の状況及損耗</p>	<p>阿部少尉、本田少佐、兵一名、計三名 武裝解除より別行動す</p> <p>谷藤中尉、召集解除す</p> <p>青池大尉、召集解除</p>	<p>作業大隊より入「ソ」迄の變動</p>	<p>入「ソ」人員</p> <p>除別計</p>	<p>滿洲残留</p>	<p>收容所</p> <p>チレンホーボー 第一收容所</p>

隊名 獨立戰車第一旅團司令部

通稱號 迫一三〇四七

郵便所名

主	(一) 隊 軍	(二) 附 部	(一) 謀 參	(二) 官 副	長 團 旅	別 隊		戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員		滿洲殘留	收容所		歸還人員	状況不明者數	
						隊長名 (内は先代を不示す)	關人 戰時 平 戰時				駐屯地	隊別		計	所入			死亡
中隊隊長 中隊副隊長 中隊隊員	大隊 藤原 隆 中隊 菅原 田中 中隊 本島 (至るに平一、三、五)	兵技大尉 青池		少佐 本田 泰三郎 中尉 谷藤		少尉 阿部 安理			同部少尉、本田少佐、兵一名、計三名 武装解除より別行動す					チレンホーボ 第一收容所				
同	右 同	右 同	右 同	右 同	平 四				青池大尉、召集解除						37			
同	右 同	右 同	右 同	右 同	天 奉				谷藤中尉、召集解除す						37			

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

一九、一〇、一一
 機班第二師團離用後、その
 機班員を悉くとして特別に
 於て編成

80名

旅 團 長	副 官 (二)	参 謀 (一)	部 附 (二)	軍 醫 (一)	主 計 (一)	通 信 係
平 塚	少佐 本田泰三郎 中尉 谷藤		兵技大尉 青池	大尉 藤原康前 中尉 菅原田中 中尉 末島 (中尉 平太三郎)	中尉 藤原康前 中尉 菅原田中 中尉 末島 (中尉 平太三郎)	
	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
天 下	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

武蔵軍管区司令部

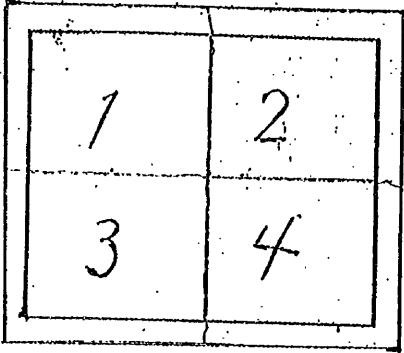
谷藤中尉、召集解除す

青池大尉、召集解除

37名

参考
 二九大隊
 司令部三七〇
 三四聯隊中五〇
 歩兵第七一三
 計 一、五〇〇名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1104
1105
1106
1107

第三方面軍直轄 部隊名 戦車第三・四聯隊 通稱 號 迫一三〇四一 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	隊別	隊長名	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	隊別計	滿洲殘留	
<p>一九、一〇、一一 勃利にて編成 二〇、五、三 四等に移動、其後揚木林に移動 二〇、八、一〇 奉天に移動（此際揚木林に約一〇名殘留せざるも掌握し得ず部隊人員約七五〇名）不抜兵團の指揮下に入る 二〇、八、二〇 虎石臺に移動 佐藤豊大尉以下九〇名班編引渡のため奉天市外東陵に殘留以後不明 二〇、八、二〇 在滿召集者全員及幹系（二〇〇名召集解除前後して入隊約一〇名逃亡約三〇名殘留者五〇〇名） 二〇、八、米 死亡（萩原見士 自動車事故） 二〇、九、七 鐵路學院にて武備通譯數名他部隊に轉出 二〇、九、一〇 同所にて作業第二九六隊編成 （長中佐 谷鐵馬） 一、〇〇〇名 二〇、九、中旬 奉天出發、イルクムツク、チレンホワー第七收容所に入所</p>		<p>一九、一〇、一一 百、一九、二 一、一、一五 一、二〇、五、一 二、二〇、三 七六名 二六 戰車五聯 一、四〇四名 二〇、三、三〇 獨歩五八〇大 三〇名 二〇、四、一八 東部軍管區司令 三七名 其他 四九名 其他 二九七名</p>	<p>二〇、三、三〇 獨歩五八〇大 三〇名 二〇、四、一八 東部軍管區司令 三七名 其他 四九名 其他 二九七名</p>	801	<p>本 部 中佐 谷鐵馬 副少尉 手島 少尉 中前泰雄</p>	<p>關入 時員 平 時 戰 時</p>	<p>隊長名 （内は先代を示す） 指中尉 濱松 指中尉 大橋 長 大瀧貢 少尉 大瀧貢 指中尉 林衆一 指大尉 山田光一</p>	<p>林木揚 天奉</p>	<p>約500名（含佐藤大尉以下）</p>	<p>逃亡二三三名 在滿召集一二名</p>	<p>武備召集約一〇名 在滿召集二〇名</p>	<p>約500名（含佐藤大尉以下）</p>	<p>入ソ連人員</p>	<p>滿洲殘留</p>
四第	(車戰中) 隊中三第	(車戰中) 隊中二第	(車戰輕) 隊中一第	部	本	隊別	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	隊別計	滿洲殘留	
2 1	3 2 1	3 2 1	3 2 1	部	本	隊別	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	隊別計	滿洲殘留	
右 同	右 同	右 同	右 同	部	本	隊別	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	隊別計	滿洲殘留	
右 同	右 同	右 同	右 同	部	本	隊別	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	隊別計	滿洲殘留	

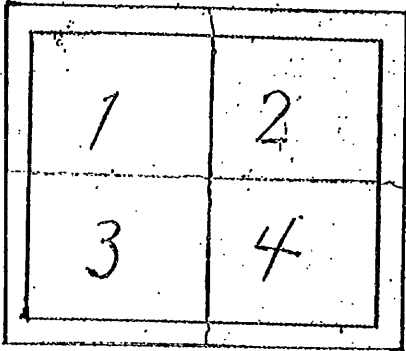
隊名 戦車第三四聯隊

通稱 號 迫一三〇四一

郵便所名

隊中四第	(車戦中) 隊中三第	(車戦中) 隊中二第	(車戦軽) 隊中一第	部	本	別	隊
3 2 1 指大尉 山田光一	3 2 1 指中尉 林 衆一	3 2 1 指中尉 大橋 長 少尉 大瀧 貢	3 2 1 指中尉 濱松		中佐 谷 鐵馬 副少尉 手島 少尉 中前泰雄	() 内は先代を示す	隊長 名
140	150	150	40				戦 闘 人 員
右 同	右 同	右 同	右 同		林木揚		駐 屯 地
右 同	右 同	右 同	右 同		天 奉		戦 闘 時
戦闘間の状況及損耗							
終戦後の人員變動							
作業大隊より入「ソ」迄の變動							
隊別 入「ソ」人員 計							
約500名(含佐藤大尉以下)							
満洲残留							
收容所名							
チレンホフ クラスノヤルスク マルダ?							
所入							
死亡							
満洲より領							
計							
総計の7割か(段列長ヲホトカにて入手)							
者 数							
状況不明							

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1108
1109
1110
1111

第三方面軍直轄 部隊名 戦車第三五聯隊

通稱 號 迫一三〇四二

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人訓編	隊別	隊長名	關入人員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	入ソ連の變動	入ソ連人員	滿洲残留	
一九、一〇、一一 勃利にて編成 二〇、六、一 公主嶺に移動 二〇、八、九 日ソ開戦に伴ひ新京防衛の任を受く 二〇、八、一一 主力約六〇〇名を新京に 出動 死亡一名 病弱者等公主嶺に搬送、同地營中満軍士官學校獎勵 銀牌に方り戦死一名 二〇、八、一九 主力新京發(除第四中隊の一部) 二〇、八、二〇 公主嶺發 二〇、八、二二 公主嶺にて武装解除 二〇、九、一〇 公主嶺第一大隊に編入 (長中佐 長命修) 二〇、一〇、一一 公主嶺出發 死亡五 逃亡一(永沼) 二〇、一一、二六 黒河發 二〇、一二、一 プラハに到着 行方不明一 ウランバートルに收容 (公主嶺ウランバートル間)		一九、一〇、一一 一五 二〇、三、二二 六 戦一聯 一九三三 二〇、三、二二 〇 二〇、三、二二 三 現役一七三名 其他 六二名 二〇、三、二二 歩四九 三〇名 其他二二九名	二〇、五、三 二〇、五、三 三三三 二〇、五、三 隨軍第七新 聯隊 五二名 二〇、五、三 隨軍第七新 聯隊 五二名 二〇、五、一 隨二四聯 四八名 二〇、三、三〇 二〇、三、三〇 三〇名 其他二二九名	670名	本 部 第一中隊(輕) 第二中隊(中) 第三中隊(中)	中尉 野村 昌 中尉 丹生 孝一 中尉 川北 中尉 高瀬 一茂	15 120 120 120	新 京 同 右 同 右 同 右	公主嶺 同 同 同	中隊長野村昌、外四五名關東軍司令部警備のため新京に送附	上記の他七〇〇名は、二〇、八、二三、四平にて武装解除第五作業大隊に編入 (長中佐 長命修)	上記四六名は新京第七大隊に編入 (長中佐 長命修)	約 550	

一九、一〇、一一 勃利にて編成	自一九、一一 至二〇、一二	二〇、五、三 線一九、三 三二名
二〇、六、一 公主嶺に移動	現一七三名 其他六二名	二〇、五、三 線一九、三 三二名
二〇、八、九 日ソ一四隊に併ひ新京防 衛の任を受く	自二〇、一二 至二〇、一二	二〇、五、三 線一九、三 三二名
二〇、八、一一 主力約六〇〇名を新京に 出動	現一七三名 其他六二名	二〇、五、三 線一九、三 三二名
死亡一名 病弱者等公主嶺に殘留、同 地營中隊軍士官學校暴動 鎮壓に方り戦死一名	二〇、三、三〇 騎歩四九 三〇名	二〇、五、三 線一九、三 三二名
二〇、八、一九 主力新京發(除第四中隊の 一部)	其他二二九名	二〇、五、三 線一九、三 三二名
公主嶺發		
二〇、八、二二 公主嶺にて武裝解除		
二〇、九、一〇 公主嶺第一大隊に編入 (長中佐 長命松)		
二〇、一〇、一一 公主嶺出發 死亡五 逃亡一(永澤)		
二〇、一一、二六 墨河發		
二〇、一二、一一 ブラゴイニ 行方不明 ウランバートルに收容		
(公主嶺ウランバートル間 一二名病死)		
参考 公主嶺一大隊 戦車隊 一、〇〇〇名 揚子隊 三〇〇名 作業隊 二〇〇名		

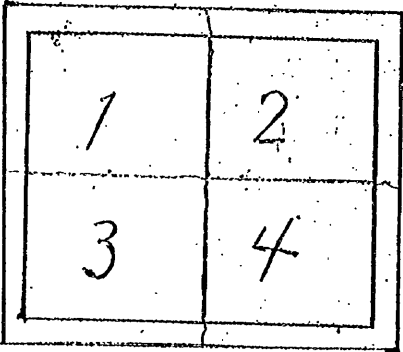
670名

本 部	第 一 中 隊 (輕)	第 二 中 隊 (中)	第 三 中 隊 (中)	第 四 中 隊 (中)	段 列 (備整)
中尉 野村 昌 大尉 野村 昌	中尉 高瀬 一茂	中尉 川北	中尉 丹生 孝一	大尉 野村 昌 中尉 野村 昌	中尉 竹内 吉春
15	120	120	120	120	150
京 新	右 同	右 同	右 同	右 同 (内45名は主力にして 下記の如し)	右 同
嶺主公	右 同	右 同	右 同	京 新	嶺主公
				中隊長野村昌、外四五名關東軍司令部警備のため新京に殘留	
				上記の指七〇〇名は、二〇、八、二二、四平にて武裝解除第五作業大隊(長 中村少佐)ウランバートル第三收容所へ入所	
				上記四六名は新京第七大隊に編入(長 津田道雄)輸送簡三〇四名死亡(長 收容所)	

約 550

バンコク收容所

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1112
1113
1114
1115

第三方面軍直轄 部隊名 獨立戦車第一旅團歩兵隊 通稱 號 迫一三〇四三 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	隊別	隊長名	關入時員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員計	滿洲残留	收			
一九、一〇、一一 勃利まで編成 二〇、五、二七まで勃利まで 自二〇、五、二八 至二〇、七、二〇 四平附近到着 二〇、七、二二 奉天へ移動は四平を越え 作休隊を率いて 二〇、八、一一 瀋陽少尉以下三五名奉天に 殘留(内准尉三) 主力東陵に移動 二〇、八、一六 在瀋陽某者召解、兵送還納 のため杉山准尉以下四一名 東陵に殘留、 二〇、八、一八 東陵にて武器弾薬 一隊は三〇大隊 主力は二九大隊に編入 イルクーツク チレンホワ()に收容 服ニヤヤキヲ奉入積物		自一九、一一、 一五 至二〇、三、 二二 六 歩歩一隊、 一四五八名 二〇、五、二〇 現役一七九名 二〇、五、三一 關東軍第七 旅團 五〇名	二〇、三、三〇 獨歩五八二大 二三名 二〇、五、一 獨歩八旅歩 一四二名 二〇、五、三一 關東軍第七 旅團 五〇名	應召 三〇名 二〇、八、五 戰車一師團 九名 二〇、三、二 戰車一師團 九名 二〇、四、二 教導隊第一 旅團歩兵九名 二〇、五、一 獨歩八旅工兵 三三名 二〇、五、三一 關東軍第六 旅團 三五名 其他三二一名	第一 隊 第二 隊 第三 隊	本 班 行 大尉 康 金藏 野村留久 副官 中尉 少澤	大尉 熊谷 中尉 豊島温純 (橋本重久)	中尉 小川 中尉 野口武夫	中尉 砥川 (中尉 前田道彦)	35 約 150 250 約 150 250 約 150 250	平 揚 林 木 天 本	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動 本部、一中隊一ヶ小隊は第 三〇大隊に編入 (長少佐、隊木倉) カサツクスダンの45の3に收 容	一ヶ小隊45名は30大隊 35	900	收

Table with 4 columns containing numerical data and handwritten notes. The notes include 'イルクーツク', 'チェンホワの(1)に收容', and '部隊番号不明'.

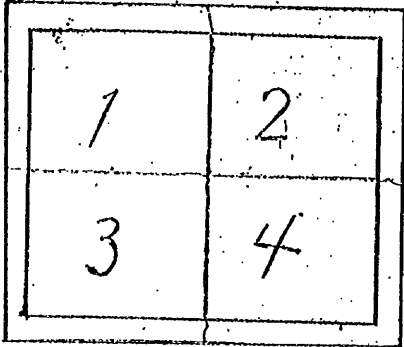
本班季行	修理班	無線班	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊 (砲射速)
前田 久 佐藤 清 藤田 隆 山田 敏 高橋 誠 木村 浩 林 平			大尉 熊谷 中尉 豊島 溫純 (橋本 重友)	中尉 小川 中尉 野口 武夫	中尉 砥川 中尉 前田 道雄	中尉 森越 中尉 村越 武彦
35			約50 250	約150 250	約150 250	約150 250

三〇大隊に編入
(豊少佐、森本佐)
カツクスタン55の3に収容

一ヶ小隊45名は30大隊 35

900

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1116
1115
1114
1113
1112
1111
1110
1109
1108
1107
1106
1105
1104
1103
1102
1101
1100
1099
1098
1097
1096
1095
1094
1093
1092
1091
1090
1089
1088
1087
1086
1085
1084
1083
1082
1081
1080
1079
1078
1077
1076
1075
1074
1073
1072
1071
1070
1069
1068
1067
1066
1065
1064
1063
1062
1061
1060
1059
1058
1057
1056
1055
1054
1053
1052
1051
1050
1049
1048
1047
1046
1045
1044
1043
1042
1041
1040
1039
1038
1037
1036
1035
1034
1033
1032
1031
1030
1029
1028
1027
1026
1025
1024
1023
1022
1021
1020
1019
1018
1017
1016
1015
1014
1013
1012
1011
1010
1009
1008
1007
1006
1005
1004
1003
1002
1001
1000
999
998
997
996
995
994
993
992
991
990
989
988
987
986
985
984
983
982
981
980
979
978
977
976
975
974
973
972
971
970
969
968
967
966
965
964
963
962
961
960
959
958
957
956
955
954
953
952
951
950
949
948
947
946
945
944
943
942
941
940
939
938
937
936
935
934
933
932
931
930
929
928
927
926
925
924
923
922
921
920
919
918
917
916
915
914
913
912
911
910
909
908
907
906
905
904
903
902
901
900
899
898
897
896
895
894
893
892
891
890
889
888
887
886
885
884
883
882
881
880
879
878
877
876
875
874
873
872
871
870
869
868
867
866
865
864
863
862
861
860
859
858
857
856
855
854
853
852
851
850
849
848
847
846
845
844
843
842
841
840
839
838
837
836
835
834
833
832
831
830
829
828
827
826
825
824
823
822
821
820
819
818
817
816
815
814
813
812
811
810
809
808
807
806
805
804
803
802
801
800
799
798
797
796
795
794
793
792
791
790
789
788
787
786
785
784
783
782
781
780
779
778
777
776
775
774
773
772
771
770
769
768
767
766
765
764
763
762
761
760
759
758
757
756
755
754
753
752
751
750
749
748
747
746
745
744
743
742
741
740
739
738
737
736
735
734
733
732
731
730
729
728
727
726
725
724
723
722
721
720
719
718
717
716
715
714
713
712
711
710
709
708
707
706
705
704
703
702
701
700
699
698
697
696
695
694
693
692
691
690
689
688
687
686
685
684
683
682
681
680
679
678
677
676
675
674
673
672
671
670
669
668
667
666
665
664
663
662
661
660
659
658
657
656
655
654
653
652
651
650
649
648
647
646
645
644
643
642
641
640
639
638
637
636
635
634
633
632
631
630
629
628
627
626
625
624
623
622
621
620
619
618
617
616
615
614
613
612
611
610
609
608
607
606
605
604
603
602
601
600
599
598
597
596
595
594
593
592
591
590
589
588
587
586
585
584
583
582
581
580
579
578
577
576
575
574
573
572
571
570
569
568
567
566
565
564
563
562
561
560
559
558
557
556
555
554
553
552
551
550
549
548
547
546
545
544
543
542
541
540
539
538
537
536
535
534
533
532
531
530
529
528
527
526
525
524
523
522
521
520
519
518
517
516
515
514
513
512
511
510
509
508
507
506
505
504
503
502
501
500
499
498
497
496
495
494
493
492
491
490
489
488
487
486
485
484
483
482
481
480
479
478
477
476
475
474
473
472
471
470
469
468
467
466
465
464
463
462
461
460
459
458
457
456
455
454
453
452
451
450
449
448
447
446
445
444
443
442
441
440
439
438
437
436
435
434
433
432
431
430
429
428
427
426
425
424
423
422
421
420
419
418
417
416
415
414
413
412
411
410
409
408
407
406
405
404
403
402
401
400

第三方面軍直轄 部隊名 獨立戰車第一旅團砲兵隊

通稱 號 迫 一 三 〇 四 四

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	隊別	隊長名	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入りの變動	入りの人員	滿洲残留
一九、一〇、一一 勃利にて編成	一九、一、一一 自一九、一一 至二〇、三、二二	二〇、五、三一 關東第七師團 隊 三五名	二〇、五、三一 關東第七師團 隊 三五名	536	本	少佐 山田庄太郎	關入	奉天 東山脈地帯					
二〇、六、三 揚木林窟	二〇、五、一 敵機隊砲 二九名	二〇、五、三一 關東第七師團 隊 四九名	二〇、五、三一 關東第七師團 隊 四九名		部								
二〇、八、一一 奉天警備のため揚木林出撃	自一九、一一 至二〇、三、二二 六 機動砲一 八二六名	二〇、五、三一 關東第七師團 隊 二〇名	二〇、五、三一 關東第七師團 隊 二〇名		指揮班	中尉 千田正							
二〇、八、一六 奉天東陵にて武解後虎石臺に移動	二〇、三、二六 隊一師七三名				第一隊	中尉 渡辺清							
二〇、九、五 召解約四〇〇名ワイジエリ部隊にて逃亡ニケ分隊	二〇、三、四 少隊砲 六名				第二隊	中尉 巖島善徳							
二〇、九、二二 奉天、北陵編成第二、第二九、第三〇、第三一各大隊に編入	自二〇、三、二六 至二〇、四、七 陸軍野戰砲兵 學校 五名				第三隊								
チレンホーホー地区に駐紮	二〇、三、二〇 現校一四八名				第四隊								

400?

隊別	編制人員	本	部	指揮班	第一隊中	第二隊中	第三隊中
隊長名 (内は先代を示す) 少佐 山田庄太郎	隊員	天	奉	中野 千田正	中野 渡辺清	中野 倉島芳徳	
駐屯地	平時	陵	東	右同	右同	右同	右同
戦時	戦時	山	派	右同	右同	右同	右同
戦闘間の状況及損耗							
終戦後の人員變動							
作業大隊より入ソノ迄の變動							
入ソノ人員	隊別						
計						400?	
満洲残留							
收容所	收容所名						
人員	人員						
死亡	死亡						
満洲より	満洲より						
領	領						
計	計						
者	者						
数	数						

部隊名 獨立戦車第一旅團砲兵隊

通稱 號 迫 一三〇四四

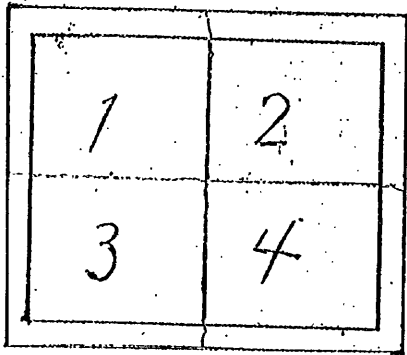
郵便所名

勃利にて編成 二〇、五、二五 四平附近警備のため勃利出 發總口約七〇〇名	二〇、六、三 揚木林茂	二〇、八、一一 奉天警備のため揚木林田發	二〇、八、一一 奉天警備のため揚木林田發	二〇、八、一六 奉天東陵にて武勝後虎石窓 に移動	二〇、九、五 召喚約四〇〇名ワイゲン 部隊にて逃亡ニケ分隊	二〇、九、二二 奉天、北陵編成第二、第二 九、第三〇、第三一各大隊 に編入	チレンホーボー地区に收容
---	----------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	--	--------------

536

本	部	指揮班	第一中隊	第二中隊	第三中隊	整備中隊
二〇、五、三一 關東第七勸務 隊 三五名	二〇、五、三一 關東第六勸務 隊 四九名	二〇、五、三一 關東第三勸務 隊 二〇名	自一九、一一 至二〇、三、二 六 機動砲一 八二六名	自二〇、三、二 至二〇、四、七 陸軍野戰砲兵 學校 五名	自二〇、三、二 至二〇、四、七 陸軍野戰砲兵 學校 五名	現校一四八名
二〇、五、三一 關東第七勸務 隊 三五名	二〇、五、三一 關東第六勸務 隊 四九名	二〇、五、三一 關東第三勸務 隊 二〇名	自一九、一一 至二〇、三、二 六 機動砲一 八二六名	自二〇、三、二 至二〇、四、七 陸軍野戰砲兵 學校 五名	自二〇、三、二 至二〇、四、七 陸軍野戰砲兵 學校 五名	現校一四八名
中野 千田 正	中野 養馬 孝徳	中野 養馬 孝徳	中野 渡辺 清	中野 渡辺 清	中野 渡辺 清	中野 渡辺 清
天 奉	陵 東	帶 地 派 山	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
150						

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1120
1121
1122
1123

第三方面軍直轄 部隊名 獨立戰車第一旅團整備隊

通稱 號 迫一三〇四六

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人調編	隊別	隊長名	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動	入ソ人員	隊別計	滿洲殘留
一九、九 戰車第二師團の戦員せる惣 利にて編成 一九、一 鈴木少佐隊長に當任 田邊中尉は隊附 二〇、五 四年揚木林に移駐 總員五六〇名 二〇、八、一〇 奉天に移駐終業に至る 二〇、八、一三 奉天、東陵にて 病死一、入院一、脱走五 二〇、八、二〇 現地召集二五〇名 二〇、九、五 奉天にて武解 二〇、九、七 脱走五 二〇、九、一五 奉天編成、第三〇大隊に編入 (長 鈴木 充) 二〇、九、一八 奉天發、黒河ブラゴエ經由 カザツクスタン45の3に收容 參考、見主六、准尉三、 兵五二八、軍醫六、 計五六〇名		自一九、一、一五 至二〇、三、二六 戰一師團 五八一一名 應召一四五名 野重八補 二〇、二、一七 六四名 現役 八七名 二〇、三、一五 關二技教 四二名 二〇、五、一 教職旅團 三一名 其他 七名	二〇、五、三一 滿一五五三九 三一名 其他 七四名	289	本 部 少佐 鈴木 宣 (中尉 田邊二郎)	關入 戰時 平時	四 平 奉 天	同 右 同 右						

直轄 部隊名 獨立戰車第一旅團整備隊

通稱 號 迫一三〇四六

郵便所名

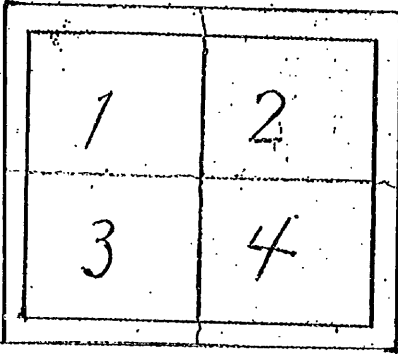
289				人員編制	
中品部	隊中斗戰	隊中備整	部	本	別
					隊長名 (内は先代を示す) 少佐 鈴木 宣 (中尉 田邊二郎)
					戰 闘 人 時 員
					駐屯地
右同	右同	右同	右同	平 四	戰 時
右同	右同	右同	右同	天 奉	戰 時
戰鬥間の狀況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より 入「ソ」迄の變動					
隊別 計					
入「ソ」人員					
滿洲殘留					
收容所					
收容所名					
所入					
死亡					
滿洲より領計					
歸還人員					
者 數					
狀況不明					

一九、九 親軍第二師團の將兵せる勢 利にて備成	白一九、一、 一五 至二〇、三、二 六	二〇、五、三 一五五四一 一一二名
一九、一 鈴木少佐隊に随行 田邊中尉は除隊	親一師團 五八一名 應召一四五名	二〇、五、三一 一五五三九 三一名
二〇、五 西平楊木林に移動 總員五六〇名	舟楫八補 六四名	共他 七四名
二〇、八、一〇 奉天に移駐終戦に至る	二〇、六、二〇 現役 八七名	
二〇、八、一三 奉天、東陵にて 病死一、入院一、脱走五	三〇、三、一五 關二技校 四二名	
二〇、八、二〇 現地名簿二五〇名	二〇、五、一 教諭旅團 三一名	
二〇、九、五 奉天にて武備	其他 七名	
二〇、九、七 脱走 五		
二〇、九、一五 奉天編成、第三〇大隊に編 入 (長 鈴木 寛)		
二〇、九、一八 奉天發、黒河ラゴエ經由 カザツクスタン45の3に收 容		

参考
將校四、見士六、准尉三、
兵五二八、軍醫六
計五六〇名

本 部	隊 中 備 整	隊 中 斗 戰	隊 中 品 部
少尉 鈴木 信 (中尉 田邊 二郎)			
平 四	右 同	右 同	右 同
天 奉	右 同	右 同	右 同

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1124
1125
1126
1127

第三方面軍直轄 部隊名 獨立戰車第一旅團工兵隊

通稱 號 迫 一三〇四五

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	隊別	隊長名	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲殘留
一九、一一、一五 勃利にて戰車第二師團運用せる後阿師團工兵隊の總務員を基幹として編成 二〇、五、一〇 四平に移動 二〇、八、二 奉天に移動 二〇、八、一〇 東陵に移動 二〇、八、一八 東陵にて武解 二〇、八、下旬 奉天北陵にて主力は第三〇大隊に編入 (長小佐 鈴木寛) 當隊員約三五〇名 二〇、九、六 奉天發、黒河、フラー、經由カザツクススタン45の3に收容 一部市川少尉以下五〇名四平出發時同地發砲、四平にて終戦 二〇、九、二〇 四平編成第四大隊 (長大佐 宇島) 二〇、九、二五 四平發 二〇、一〇、三〇 黒河經由イルクーツクの5に收容		自一九、一一、一五 一五、一〇、三〇 至二〇、三、二六 第六師團 第一師團 四九七名 二〇、五、三一 關東軍第七師團 一〇、二〇、二〇 一五、一〇、二〇 現役一三三名 其他一三三名	二〇、四、一七 奉天九師團 一一一名 二〇、五、三一 關東軍第七師團 二三名 二〇、五、一 獨戰八旅 二〇、四、一七 西軍管司 一一一名	357	本 部 副官 大森 壽榮 中尉 松浦 隆	中尉 堤 俊六 中尉 佐野 定徳	關入 100 戦時 148	四 平 天 奉	戰鬥間の狀況及損耗 終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別 計	滿洲殘留	

陸軍 部隊名 獨立戦車第一旅團工兵隊

通稱 號 追一三〇四五

郵便所名

轉出		編制人員		357	
別	隊	本	部	(小三) 隊 中 一 第	(小三) 隊 中 二 第
隊長名	(内は先代を示す) 大尉 大森 壽榮 副官 松浦 隆 中尉 松浦 隆	中尉 堤 俊六 中尉 佐野 定徳	中尉 堤 俊六 中尉 佐野 定徳	中尉 堤 俊六 中尉 佐野 定徳	中尉 堤 俊六 中尉 佐野 定徳
開入	100	148	150		
駐屯地	四 奉 天	右 同	右 同	右 同	右 同
戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動					
入ソノ人員	作業大隊より入ソノ變動				
除別計					
滿洲殘留					
收容所	カザンクスタン 45の3				イルクーツク 5
所人					
死亡					
歸還人員	滿洲より				
計					
者数	狀況不明				

一九、二一、二五
 陸軍にて第百第二師團隷下
 せる第四師団工兵隊の連長
 として在任して終戦
 二〇、五、一〇
 四平に移勤
 二〇、八、二
 奉天に移勤
 二〇、八、一〇
 東陵に移勤
 二〇、八、一八
 東陵にて武解
 二〇、八、下旬
 奉天北陵にて主力は第三〇
 大隊に編入
 (長小佐 鈴木五)
 當隊員約三五〇名
 二〇、九、六
 奉天發、遼河、ノリ、
 經由カザクスタンの45の3
 に収容
 一部市川少尉以下五〇名西
 平出發時同地殘留、四平に
 て終戦
 二〇、九、二〇
 四平編成第四大隊(長大佐
 宇崎)
 二〇、九、二五
 四平發
 二〇、一〇、三〇
 黒河經由イルクティツクの
 ちに収容

357

本	部	第一中隊(小三)	第二中隊(小三)
副官 中尉 松浦 隆		中尉 堤 俊六 中尉 佐野 定雄	中尉 坂 利夫
150	148	150	
平 四	右 同	右 同	右 同
天 泰	右 同	右 同	

〇二名 一五名 第六勅 五三二 一七名 一七名 二三名 五三二 一七名 一七名

(小三) 隊 中 二 第	(小三) 隊 中 一 第	部	本
中尉 坂井 文	中尉 堤 俊六 中尉 佐野 定雄		副官 松浦 隆
150	148	180	
右 同	右 同		平 西
右 同	右 同		天 奉
	イルクローツク 5		45 の 3 カ ザ ツ ク ス タ ン